



厚生財団

KOSEIZAI DAN

一般財団法人 新潟県教職員厚生財団 TEL 025 (228) 3581 URL <http://www.koseizaidan.or.jp>
〒951-8516 新潟市中央区東中通1-86-73 FAX 025 (224) 8830 E-mail info@koseizaidan.or.jp

TOPICS (主な内容)

令和6年度 役職員の紹介	P.2
令和5年度 決算及び事業報告	P.3
災害見舞金 判定基準改正について 教育・文化活動 助成金申請受付中 永年団員祝金 振込口座報告のお願い	P.4
佐渡島の金山シリーズ	P.6

新潟県の文化財シリーズ

五合庵は、40歳の良寛が寛政5年(1793)から約20年過ごした庵で、1952年に新潟県の史跡記念物に指定されました。もとは、国上寺を再興した萬元上人のために建てられたものです。

良寛はここで托鉢に出たり、座禅をしたり、『源氏物語』や『万葉集』、『永平録』などを読み、多くの漢詩・長歌・短歌を生み出したとされています。良寛作品の代名詞とされる「天上大風」は五合庵時代の晩期以降に書かれたものです。



■ 五合庵
県指定史跡

写真提供 燕市立分水中学校長 相澤 一徳 様
燕市立吉田小学校長 二平 芳信 様
燕・西蒲支部長 文



厚生財団の存在意義

理事長 猪股 博 英

以前ある会議で、参加者より次のようなお言葉をいただきました。

「財団は新潟県の教育に欠かせない組織です。」

これまで私は生活資金を借りるなど、1人の団員として、財団に大変お世話になってきました。そして今、財団経営に携わってきて心から思うのが、正に先程の言葉です。

財団は、福利・厚生事業を通して団員の生活をサポートするため、また様々な教育団体やグループに助成金を贈与するなど、新潟県教育の充実・発展のために無くてはならない存在である、ということです。そして先程の言葉は、全団員の思いであると私は思っています。

明治時代、学制がひかれ、学校教育が始まりました。しかし、当時の給料では教職員の生活はとても苦しかったそうです。そのような状況の中、1902年(明治35年)「み

んなでお金を出し合い、困った時や必要な時に使えるようにしよう」と相互扶助の考えで、私たちの先輩方がグループを組織したのが財団誕生のきっかけです。南魚沼郡38か校に勤務する教職員60人でのスタートでした。

そして昨年度、当財団は創立110周年を迎えることができました。これは、財団という組織を作ってくださった私たちの先輩方、そして今日まで、財団を支えてくださった、全ての団員のおかげです。心より感謝いたします。

冒頭お話しした会議で他の参加者より、「近年減少傾向にある新採用入団者を増やし、財団を守っていかなくてはなりません。」と、当財団の未来に向かっての力強い言葉もいただきました。

これからも当財団役職員一同、団員の皆様の思いをしっかりと受け止め、安定した運営ができるように努めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

令和6年度 役職員の紹介

◆顧問・理事・監事◆

職名	氏名	所属所名	職名	氏名	所属所名
顧問	桑原 直哉	新潟県教職員厚生財団	理事	小海 信幸	長岡市立阪之上小学校
顧問	坂井 育男	新潟県教職員厚生財団	理事	山岸 力	長岡市立表町小学校
顧問	金子 淳嗣	新潟県学校生活協同組合	理事	五十嵐守男	上越市立城西中学校
理事長	猪股 博英	新潟県教職員厚生財団	理事	松岡 博志	上越市立東本町小学校
副理事長	今井 淳	新潟県教職員組合	理事	阿部 勉	上越市立大町小学校
専務理事	堀井 重人	新潟県教職員厚生財団	理事	吉澤 環	新潟県学校生活協同組合
常務理事	関矢 洋	新潟県教職員厚生財団	理事	澁谷 一男	新潟県学校生活協同組合
理事	市野 正廣	新潟県立新潟高等学校	理事	佐藤 俊介	新潟県教職員組合
理事	石黒 浩司	新潟県立新発田高等学校	監事	淡路 弘幸	長岡市立東北中学校
理事	山田 澄人	新潟県立江南高等特別支援学校	監事	若林 靖人	小千谷市立小千谷中学校
理事	金山 光宏	新潟市立白新中学校	監事	石津 真澄	新潟県教職員組合
理事	山田 浩之	新潟市立新潟小学校	監事	井部栄二郎	大樹生命保険(株)新潟支社
理事	相澤 祐助	新発田市立御免町小学校			

◆評議員・支部長◆

支部	評議員	所属所名	支部	支部長	所属所名
新潟北区	小坂井秀行	松浜小学校	新潟北区	藤井 正人	葛塚小学校
新潟東区	羽田 雄偉	竹尾小学校	新潟東区	小林 裕之	東山の下小学校
新潟中央区	吉田 亨	上所小学校	新潟中央区	小林 圭一	浜浦小学校
新潟江南区	保坂 章夫	曾野木小学校	新潟江南区	渋谷 徹	亀田小学校
新潟秋葉区	北村 宏	結小学校	新潟秋葉区	間嶋 哲	新津第一小学校
新潟南区	小川 和宏	根岸小学校	新潟南区	瀧澤 訓	大通小学校
新潟西区	浅野 秀之	新通小学校	新潟西区	江口 陽子	青山小学校
新潟西蒲区	古井丸裕三	曾根小学校	新潟西蒲区	田中 正栄	巻北小学校
新潟市中学校	桑原 通泰	上山中学校	新潟市中学校	渡邊 昌彦	東新潟中学校
長岡・三島	平原 哲雄	中島小学校	長岡・三島	網 信行	旭岡中学校
上越	田邊 道行	春日小学校	上越	宮川 高広	直江津中学校
三条	熊倉 隆司	裏館小学校	三条	山田 好一	栄中学校
柏崎・刈羽	戸田 孝之	刈羽小学校	柏崎・刈羽	宮崎 隆史	西山中学校
新発田	長谷川裕高	第一中学校	新発田	小野沢謙一	外ヶ輪小学校
小千谷	菊地亜弥子	東小千谷小学校	小千谷	佐藤 浩一	小千谷小学校
加茂・南蒲	小野 浩	田上中学校	加茂・南蒲	小畑一二美	加茂小学校
十日町・中魚	宮澤 均	南中学校	十日町・中魚	松澤 ゆりか	十日町小学校
見附	松本 浩嗣	西中学校	見附	後藤 正美	見附小学校
村上・岩船	松田 洋平	村上小学校	村上・岩船	只木 雅実	岩船中学校
燕・西蒲	相澤 一徳	分水中学校	燕・西蒲	二平 芳信	吉田小学校
糸魚川	吉田 和則	能生中学校	糸魚川	松岡 貴徳	能生小学校
妙高	五十嵐 悟	新井北小学校	妙高	寺島 政敬	新井中学校
五泉	吉田 豊	愛宕小学校	五泉	小野 裕子	村松小学校
阿賀野・北蒲	丹後 直子	聖籠中学校	阿賀野・北蒲	鈴木 正彦	水原小学校
佐渡	雑賀 裕	金井中学校	佐渡	藤井 衛	金井小学校
胎内	山沢 正仁	胎内小学校	胎内	松原 利弘	中条小学校
魚沼	佐々木政彦	小出小学校	魚沼	石津 忠	堀之内小学校
南魚沼	佐藤 茂幸	城内小学校	南魚沼	小宮山 仁	六日町中学校
東蒲原郡	国本 力	阿賀津川中学校	東蒲原郡	堰 毅	上川小学校
高等学校	保坂 哲	高田北城高等学校	高等学校	小竹 聖一	新潟中央高等学校
高等学校	勝山 宏子	三条高等学校	—	—	—
高等学校	小畑 智嗣	新潟商業高等学校	—	—	—
特別支援学校	中静 康弘	吉川高等特別支援学校	特別支援学校	吉橋 哲	長岡市立高等総合支援学校
大学	—	—	大学	萱場 龍一	新潟大学工学部
新事研	上野 智子	城西中学校	—	—	—

◆厚生財団職員◆

事務長 田中英幸
主任 渡辺美季

主査 茂野恵子
書記 渡邊健

主査 山口隆行
書記 長谷川あゆ美

主任 今井典昭

令和5年度 会計決算・事業報告

正味財産増減計算書

令和5年4月1日～令和6年3月31日

(単位：円)

経常増減の部	
経常収益	642,105,543
基本財産運用益	550,000
特定資産運用益	1,241
資金運用収益	590,033,747
事業収益	51,500,522
雑収益	20,033
経常費用	453,345,027
事業費	237,115,946
管理費	216,229,081
当期経常増減額	188,760,516
経常外増減の部	
経常外収益	0
経常外費用	1
除却損	1
当期経常外増減額	△1
正味財産の部	
税引前当期一般正味財産増減額	188,760,515
法人税、住民税及び事業税	462,000
当期一般正味財産増減額	188,298,515
一般正味財産期首残高	3,462,405,458
正味財産期末残高	3,650,703,973

正味財産は、貸借対照表の資産から負債を引いた額で、企業会計の純資産に該当するものです。

また、「正味財産増減計算書」は当該年度の正味財産の増減状況を適正に表示したもので、企業会計の損益計算書に該当するものです。

◆ 団員数・厚生資金積立金

令和6年3月31日現在

	団員数	厚生資金積立金
現職団員	16,748人	216億8,313万円
継続団員	5,099人	117億4,761万円
合計	21,847人	334億3,074万円

◆ 新規貸付状況

種別	件数	貸付金額
生活資金	601件	4億3,371万円
自動車資金	289件	5億140万円
結婚資金	22件	4,500万円
入学資金	45件	9,820万円
学資金	74件	1億2,320万円
災害資金	2件	520万円
住宅・宅地資金	24件	1億200万円
合計	1,057件	13億871万円

◆ 生命保険団体取扱い事業

種類	内訳
普通保険	保有件数 3,259件
	年間取扱保険料 5億2,830万円
教職員年金制度	加入人数 1,491人
	加入口数 39,202口

◆ 公益目的支出計画実施報告書

平成26年4月1日～令和6年3月31日

1. 公益目的財産額	14億435万円
2. 当該事業年度の公益目的支出累計額 (①+②-③)	2億1,205万円
①前事業年度末日の公益目的支出累計額	1億9,394万円
②当該事業年度の公益目的支出の額 (令和5年4月1日～令和6年3月31日)	1,811万円
③当該事業年度の実施事業収入の額	0万円
3. 当該事業年度末日の公益目的財産残額	11億9,230万円

貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位：円)

資産の部	
流動資産	2,036,427,348
現金・郵便振替・普通預金	1,312,448,734
定期預金・有価証券	620,000,000
前払金・未収金等	103,978,614
固定資産	35,178,011,598
基本財産 (有価証券)	50,000,000
特定資産 (退職給付引当)	69,446,000
償却資産 (建物・構築物・什器備品)	202,298,936
土地	163,258,520
貸付金	3,430,669,431
有価証券	31,262,338,711
資産合計	37,214,438,946
負債の部	
流動負債	63,548,401
未払金等	4,534,560
保険料預り金等	55,427,664
期末勤勉手当引当金	3,586,177
固定負債	33,500,186,572
積立金	33,430,740,572
退職給付引当金・役員退職慰労引当金	69,446,000
負債合計	33,563,734,973
正味財産の部	
一般正味財産	3,650,703,973
正味財産合計	3,650,703,973
負債・正味財産合計	37,214,438,946

◆ 厚生費贈与事業

①普通厚生費

総額	988万円
一人平均贈与額	452円
年度末に全団員に贈与 (個人の積立金に繰入れ)	

②特別厚生費

種別	件数	贈与金額
弔慰金	52件	449万円
災害見舞金	118件	960万円
病氣見舞金	425件	845万円
香げ料	1,338件	2,059.5万円
結婚祝金	314件	1,520万円
就学祝金	528件	1,054万円
出生祝金	622件	1,237万円
永年団員祝金	2,015件	5,097万円
合計	5,412件	1億3,221.5万円

◆ 厚生・補助・あっせん事業

種類	内訳
教職員手帳	現職団員 (希望者) と継続団員
総合健診等	総合健診 (人間ドック) 1,302人
受診料補助	オプション検診 1,939人
退職準備金借入	1件

災害見舞金 「中規模半壊」「準半壊」区分の新設

去る5月13日の第1回理事会にて、災害見舞金判定基準の一部改正について議決されました。地震と水害の判定基準に「中規模半壊」と「準半壊」の区分が追加され、令和6年能登半島地震が発生した本年1月1日に遡って施行されます。

また、旧規程で準半壊等の判定を受け、すでに災害見舞金を請求した団員の皆様には、改正後の判定基準との差額を送金いたしました。

判定基準 (改正後)	判定	居宅の損害程度			金 額		
		火 災	水 害	地 震	自 家	借家・借間	
	①	全 壊	全 壊	全 壊	30万円	15万円	新設
	②	半 焼	大規模半壊	大規模半壊	20万円	10万円	
	③	－	中規模半壊	中規模半壊	15万円	7万5千円	
	④	部分焼	半 壊	半 壊	10万円	5万円	新設
	⑤	－	準半壊	準半壊	7万5千円	4万円	
	⑥	ぼ や	一部損壊	一部損壊	5万円	3万円	
⑦	風雪害等			2万円	1万円		
* 台風・竜巻・雪崩等による甚大な被害の場合は常勤役員で協議する。							

「居宅」とは… 所有権の有無を問わず、団員が現に生活の根拠地として住む建造物を災害見舞金の対象とします。居宅以外の建物・構造物や敷地および家財等の損害は対象外です。

〈請求期限は被災日から3年間で、居宅の損害程度を証明する「罹災証明書」が必要です〉

新潟県民のための教育・文化活動助成事業

— 新潟県内の教育振興に寄与する団体や事業を支援しています —

地域の伝統文化・芸術の継承活動や教職員同士のサークル活動、研究指定を受けた学校・団体などを対象とした、令和6年度の「普通事業助成」の申請を受け付けています。

希望する団体は、厚生財団ホームページから「普通事業助成申請書」を取得し、期日までに申請手続きをお願いします。昨年度に引き続き助成を希望する団体も、改めて申請が必要です。

助成対象	1. 伝統文化・芸術、サークル活動等 2. 研究指定校・研究物発刊団体等	※支部長(本紙2ページ掲載)の推薦が必要です。
申請期限	令和6年10月31日(木) 当日消印有効	

永年団員祝金 振込口座報告のお願い

下記の年度に入団した現職団員は、令和6年度「永年団員祝金」の該当者です。6月に祝金贈与のご案内を送付しましたので、期日までに「振込口座連絡票」のご提出をお願いします。

在団年数	入 団 年 度
10年	平成25年度(2013年度)入団
20年	平成15年度(2003年度)入団
25年	平成10年度(1998年度)入団

※平成8年度以前の入団者は、退職時に一括贈与されるため、今回のご案内は送付していません。

■ 振込口座連絡票 提出期限
令和6年7月31日(水)

■ 永年団員祝金送金日
令和6年9月30日(月)
贈与金額 10,000円

開催報告 退職を祝う会

令和5年度末に退職された皆様に、長年ご加入いただいた感謝の意を込めて退職を祝う会を開催しました。

懇親会では「とても楽しみにしていた」「開催してもらえて嬉しい」という声をいただきました。5年ぶりの開催となりましたが、多くの方からご参加いただき有意義な時間を過ごしていただくことができました。

地区	月 日	会 場	参加者数
上越	6 / 5	ホテルハイマート	8名
中越	6 / 12	ホテルニューオータニ長岡	15名
下越	6 / 27	ホテルイタリア軒	29名

在団期間が25年以上の方をご招待しております。



積立金や貸付金の残高確認は団員マイページで

「払込残高明細書」で払込金・残高の確認

「Web申請書」で書類の取得

ホームページからアクセス！ ログインID・パスワードをお忘れの場合はご連絡ください。

新潟県教職員厚生財団

検索



大樹生命からのお知らせ

新潟県教職員年金制度

● 拠出型企業年金保険 ●

2024年度(新規加入・増口)

お取り扱い期間

9/2(月)～10/15(火)

旧個人年金保険料控除

が適用されます！(注1)

厚生財団員限定(注2)

予定利率 年0.75%(注3)

60歳未満の方まで
ご加入できます！

4つの年金タイプで
老後をサポート!!

お問い合わせは 025-243-6877 大樹生命 新潟支社 まで

(注1) 2024年4月現在の税制に基づいた記載です。今後税制の改正が行われた場合には記載内容と相違する場合があります。なお、2012年1月より生命保険料控除が改正されましたが、当制度については2011年12月31日以前に締結された契約であるため旧制度の生命保険料控除額の適用が継続されます。

(注2) 加入日(責任開始日) 現在、新潟県教職員厚生財団の現職団員で満18歳以上満60歳未満(昭和40年1月2日～平成19年1月1日生まれ)の方。

なお、掛金払込完了年齢(満65歳)まで払込期間が10年未満(昭和44年11月30日以前生まれ)の方は、旧個人年金保険料控除の適用は受けられません。

(注3) 予定利率は将来にわたって保障されるものではありません。また予定利率は2024年3月15日現在のものであり今後変更される場合がございます。

※ご加入の際には、パンフレットにて詳細を必ずご確認ください。

一般財団法人新潟県教職員厚生財団

引受保険会社 大樹生命保険株式会社

大樹-KB-2024-174

第5回 「佐渡を世界遺産にする会」の活動紹介

佐渡を世界遺産にする会

道遊の割戸（青柳の割戸）



◆会の歩み

当会は世界遺産登録をめざして活動していた2つの会「世界文化遺産を考える会」と「佐渡金銀山友の会」が統合して、2007（平成19）年に成立しました。

初代会長は、筑波大学教授を務められた故田中圭一先生です。現会長は、元新潟県議会議員の中野洸（こう）です。中野会長は、1996（平成8）年8月の新潟県議会で佐渡金銀山の世界遺産登録に向けての活動を県に促す質問を行っています。これが、佐渡金銀山の世界遺産登録に向けての活動の端緒となりました。

当会では、統合以来17年間にわたり、佐渡金銀山の世界遺産登録に向けての活動を進めてきました。

◆活動内容

すべての活動に共通する目標は、もちろん「佐渡金銀山の世界遺産登録」です。

次のような活動を行っています。

(1) 佐渡金銀山の文化的価値を伝える啓発活動

○講演会の開催

佐渡金銀山や世界遺産に関わる講演会を開催しています。

これまで招いた講師は、元ユネスコ事務局長や前文化庁長官、世界遺産登録地の関係者、新潟県の世界遺産担当部署の専門家など多岐にわたります。

○「御金荷の道ウォーク」

かつて佐渡金銀山の金銀を運んだ相川から小木までの道を歩くウォークイベントです。約40kmの道のりを2日間に分けて往時の装束に身を包んで歩きます。

沿道の要所要所でガイドによる説明を聞きながら、また、各所で郷土芸能の歓待



を受けながら、昔を偲びながら歩きます。各日100名近い参加者を得る盛況ぶりです。

○「古道トレッキング」

鶴子銀山から上相川までの古道を歩くトレッキングです。距離は約6kmですが所要時間は3時間半

という険しい山道です。上相川では、^{どうゆう}道遊の割戸^{わりと}をいつもと違った角度から仰ぐことができ、参加者から感動の声が聞かれます。

○出前授業

当会から講師を派遣して、佐渡金銀山の歴史や価値についての授業を行っています。昨年度は19回の開催で計592名が受講しました。佐渡島内小中学校が中心ですが、公民館講座や専門学校など、一般からの依頼もあります。

○子どもサミット

2018年から年1回開催。新潟県内の5つの小学校が参加して、佐渡金銀山の世界遺産登録に向けて話し合う会議です。大人では発想

できないような意見が出され、毎回大きな刺激を受けます。



(2) 佐渡金銀山遺跡周辺の整備活動

遺跡周辺の草刈りや清掃作業にも積極的に取り組んでいます。地味な活動ですが、この活動が一番大切な活動です。佐渡金銀山は鉱山遺跡なので当然山あいがあり、草刈りを怠ると草に埋もれてしまいます。定期的に整備することにより、遺跡周辺の景観を守ること、登録まではもちろん登録後も非常に重要な任務になると考えます。

◆会の課題と今後

現在の活動は、長らく会を支えてきた役員が中心となっています。世界遺産登録を見据えて次の世代への引き継ぎが喫緊の課題となっています。特に未来を担う若い世代に佐渡金銀山への興味関心を高めてもらうことが重要です。持続可能な佐渡金銀山となるよう方策を練っていきます。

今後とも佐渡金銀山および佐渡への応援をお願いいたします。

（庄山忠彦）